

<内外の学術研究機関との交流の記録>

Exchange Programs with Japanese and International Research Institutes

2008 年度

FY 2008

2014 年 1-2 月研究会

合同研究会（新潟大学コアステーション・共生経済学研究センター2月研究会）

日 時：2月19日（水）14:00-17:00

会 場：新潟大学人文社会科学系棟 経済学部・第一合同研究室

報 告：遠藤公嗣（明治大学） 「新しいアメリカの労働組織とネットワーク：「（各種の）ワーカーセンター」「メイク・ザ・ロード・ニューヨーク」「フリーランサーズ・ユニオン」などについて」 岡野内正（法政大学） 「補助金改革、社会保護、ベーシック・インカム—貧困をめぐるグローバルな政策論争から見えるもの—」

主 催：新潟大学共生経済学研究センター

共 催：法政大学大原社会問題研究所グローバル・ベーシック・インカム研究会 アジア・アフリカ研究所

2013 年 7-8 月研究会

合同研究会

法政大学大原社会問題研究所共同研究プロジェクト グローバル・ベーシック・インカム研究会主催

アジア・アフリカ研究所、新潟大学共生経済学研究センター共催

開発政策における現金移転（Cash Transfer）革命とベーシック・インカム

日 時：2013年7月13日（土）14:00～18:00

場 所：法政大学市ヶ谷キャンパス BT 0504 教室

報告者：岡野内正（法政大学社会学部教授 会員）

〈内外の学術研究機関との交流の記録〉

Exchange Programs with Japanese and International Research Institutes

2008 年度

FY 2008

2012 年 <合同シンポジウムのお知らせ>

共通テーマ:【東南アジアのリージョナル・ガバナンスとフィリピン】

報告者: 山根健至氏(立命館グローバル・イノベーション研究機構研究員)

「アキノ政権の国内安全保障政策と市民社会

—『建設的で批判的な関与』の可能性と課題—」

報告者: 福島浩治氏(法政大学サステナビリティ研究機構研究員)

「ローカル・ガバナンスの制度と構造—フィリピン地方分権の可能性と
限界—」(仮)

報告者: 太田和宏氏(神戸大学発達科学部助教授)「フィリピンの労働レジーム」

コメンテーター: 本名 純(立命館大学国際関係学部教授)

コメンテーター: 和田幸子(名古屋学院大学大学院特任教授)

コメンテーター: 大倉三和(立命館大学国際関係学部非常勤講師)

日 時: 2012 年 12 月 1 日(土) 13:00~18:00

場 所: 立命館大学衣笠キャンパス(学而館 2 階研究会室 2)

共 催: 立命館大学国際地域研究所プロジェクト「途上国研究会」

: 立命館大学 R-GIRO 研究プログラム「新しい平和学に向けた学際的
研究拠点の形成」

: 特定非営利活動法人アジア・アフリカ研究所

2010 年 11 月 第 3 回公開講座

「グローバル経済下における発展途上諸国の構造変容」

3rd Public course: “Structural Transformation in Developing Countries in a Globalized Economy”

日 時: 2010 年 11 月 27 日(土) 15:00~

場 所: 明治大学リバティ・タワー119FG 教室

講師：フェルナンド・レヨ氏（メキシコ国立自治大学教授）

資料代：500円

講演は英語でおこないます（通訳付）。

共催 明治大学福田邦夫研究室

2009年 アジア・アフリカ研究所＝基礎経済科学研究所

第3回合同研究会

「資源・食糧価格変動の影響を考える」

3rd Joint Symposium of AAIJ and the Institute for Economic Science, July
2009: On the Fluctuating Prices of Resources and Foodstuffs

日時：2009年7月18日（土）13:00～

場所：京都大学 法経済学部東館 2F 大会議室

報告：

千葉 典氏（神戸市外国語大学准教授）「世界農産物貿易と途上国の農業・食料問題」

松下 冽氏（立命館大学教授、会員）「新自由主義・NAFTAとメキシコ農村の貧困化—トルティーリヤ危機を中心に—」

江尻 彰氏（関西大学兼任講師）「バイオエタノールと世界の食糧・農業問題」

予定報告者「資源価格の変動と私たちの暮らし—原油価格を中心に—」

2008年7月19日（土）合同研究集会のご案内

特定非営利活動法人アジア・アフリカ研究所は、基礎経済科学研究所と共催で以下のように合同研究集会を実施いたします。本年2月の第1回合同研究会（京都）にひきつづき、両研究所の研究交流が実りあるものとなるよう、皆さま、ぜひお誘い合せの上ご参加ください。

プログラム

■午前の部 10:00-13:00 「基礎研“未来社会論”のために」（主催：基礎経済科学研究所）
報告

富沢賢治氏（聖学院大学教授）「社会的企業と社会的経済セクター」

小松善雄氏（立教大学教授）「『協同組合』セクターの可能性と条件は何であるか」

大西広氏（京都大学教授）「基礎研“未来社会論”企画案について」

■午後の部 14:00-18:00 =第2回合同研究会=「東アジア共同体論の構築にむけて—東アジア・南アジアの現実から—」（共催：特定非営利活動法人アジア・アフリカ研究所＝基礎経済科学研究所）

報告

藤田和子氏（宇都宮大学名誉教授）

「GMS（拡大メコン地域）における国際協力・交流の現状—中越共催“紅河流域民族文化と生態文明国際会議”を中心に—」

桐山 昇氏（中央大学教授）

「東南アジア域内分業の進展と AFTA」

和田幸子氏（名古屋学院大学教授）

「BRICs インドと再生可能エネルギー利用—第 11 次 5 カ年計画の立場—」

阪本将英氏（専修大学准教授）

「バンダ・アチェの災害復興に係る現状と課題」

会場

専修大学神田キャンパス：7号館8階781教室